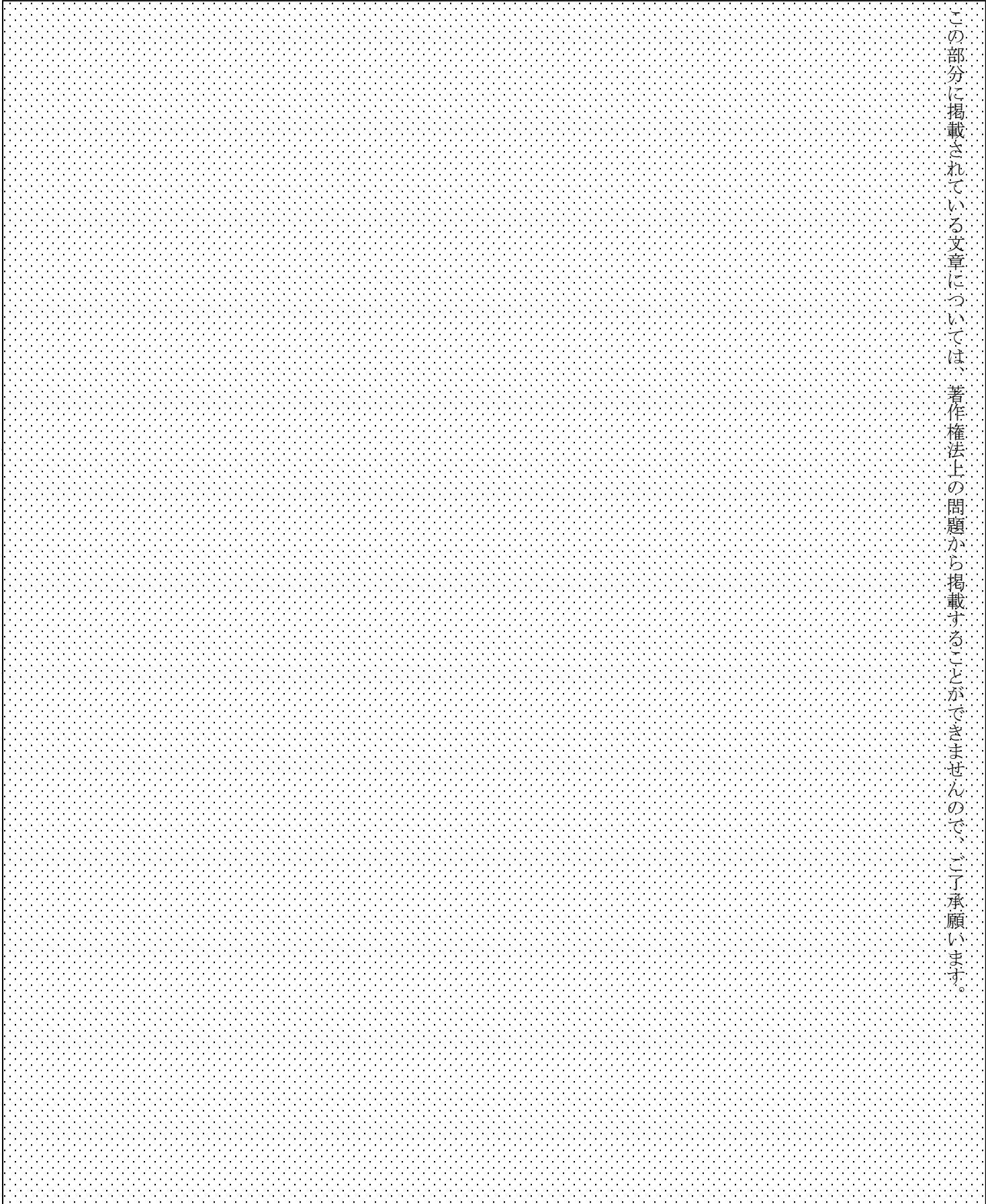


科目名	
日本語（一般方式）	
氏名	受験番号
採点欄	

次の問題文を読み、問1～3に答えなさい

この部分に掲載されている文章については、著作権法上の問題から掲載することができませんので、ご了承ください。



文学研究科 教育学専攻（修士課程）

2023 年 10 月 14 日

科目名	受験番号：	採点欄
英語（一般方式）	氏名：	

問題 以下の英文を読んで、(1)～(3)について日本語で解答してください。

この部分に掲載されている文章については、著作権法上の問題から掲載することができませんので、ご了承ください。

- (1) 下線部(1)について、なぜそのように言えるのでしょうか。本文の主旨を踏まえて説明してください。
- (2) 下線部(2)は、具体的にどのようなことを意味しているのでしょうか。事例を挙げつつ、説明してください。
- (3) 下線部(3)は、本文が執筆された当時の教育社会学研究を批判する内容になっています。批判の主旨を説明してください。

文学研究科 教育学専攻（修士課程）

2023 年 10 月 14 日

科目名	受験番号：	採点欄
専門科目	氏名：	

【問 1】下記の国立青少年教育振興機構による 4 カ国高校生比較調査の結果（「自分自身について」の項）を踏まえ、下記の問いに答えよ。解答用紙には（1）（2）のように問題番号を付けて記述すること。

- (1)日本の高校生の自己肯定感の相対的な低さが指摘されているが、それはどのような要因によると推測されるか。
- (2)その他の点で、グラフを見て各国の特徴について気づいた点を記せ。

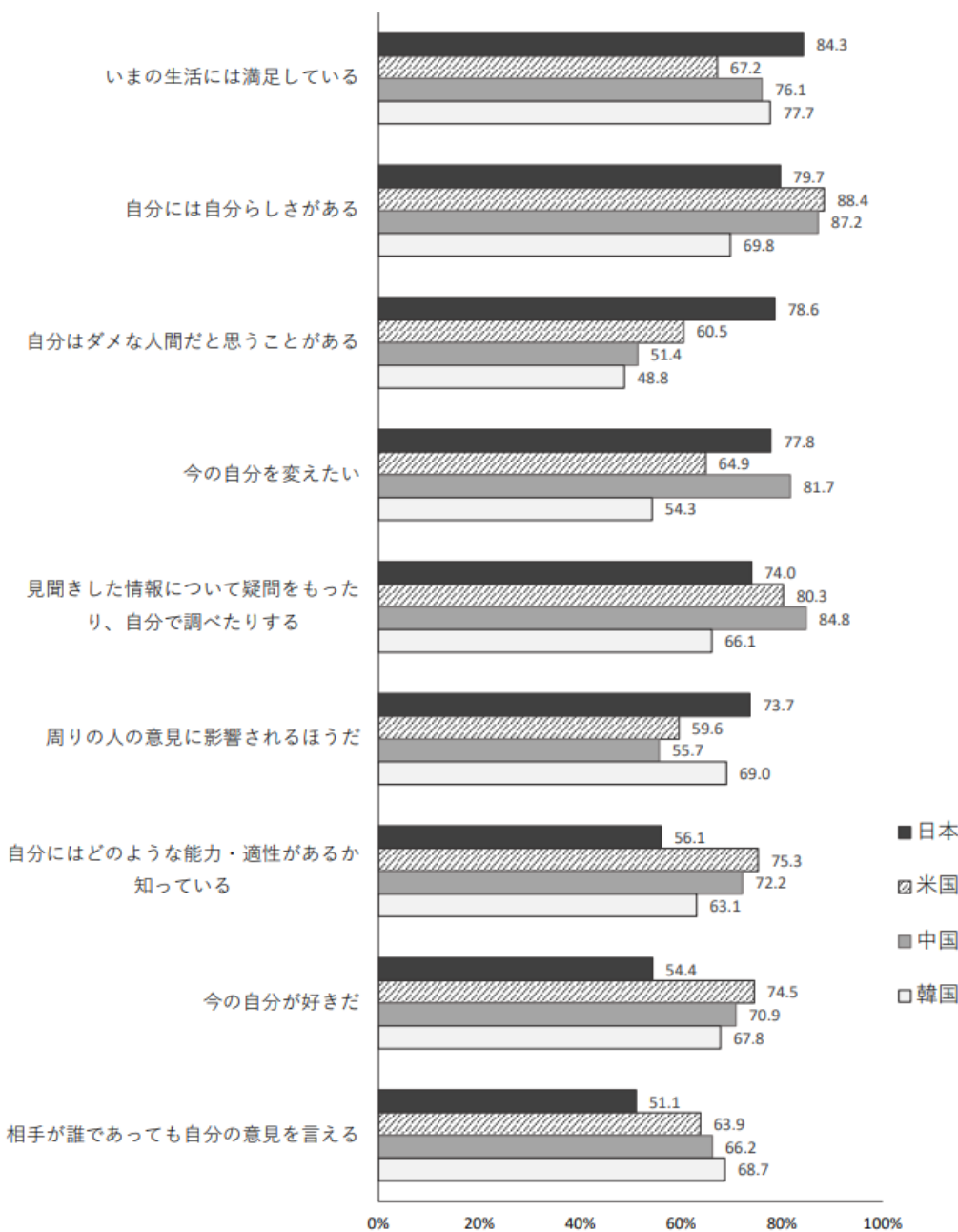


図 4-1 自分自身について(「とても思う」「まあそう思う」と回答した割合)

本調査の「自分自身について」の問いで「とても思う」「まあそう思う」と回答した割合を 4 か国で比較すると（図 4-1）、日本は 8 割弱の「自分はダメな人間だと思うことがある」が最上位、6 割弱の「自分にはどのような適性・能力があるか知っている」と 5 割強の「今の自分が好きだ」が最下位となっており、肯定的自己理解に課題がみられる。（中略）こうした主観的ウェルビーイングの低さはかねてから指摘されており、国による文化差も要因の 1 つとされる。

※引用：国立青少年教育振興機構（2023）「高校生の進路と職業意識に関する調査報告書－日本・米国・中国・韓国の比較－」

【問2】子どもの自尊感情(Self Esteem)に関する3~5ページの文章を読み、以下の問いに答えなさい。解答用紙には(1)(2)のように問題番号を付けて記述すること。

(1) ウィリアム・ジェームズの公式から考えると、Self-esteem を高めるためにはどのようなことが必要であると考えられるか？また、著者はその発想はなぜ問題であると筆者はとらえているだろうか？

(2) 著者が規定するSB, sB, sb, Sb (図1)の4つの自尊感情のタイプに当てはまるのはどのような子どもだろうか？それぞれの子どもの姿・特徴を想像して具体的に描き出してみよう。自分自身や学校で出会った友だちなどを例にあげながら説明しても良い。

(3) SBを除く3つの自尊感情タイプの子どもがいた場合、それぞれが抱えている課題を改善するためには、学校や家庭において、教師や養育者は子どもにどのような体験をさせる実践や取り組みが有効だろうか？3つのタイプそれぞれについて具体的な例をあげて記述すること。

この部分に掲載されている文章については、著作権法上の問題から掲載することができませんので、ご了承願います。

この部分に掲載されている文章については、著作権法上の問題から掲載することができませんので、ご了承願います。

この部分に掲載されている文章については、著作権法上の問題から掲載することができませんので、ご了承願います。

科目名

日本語

氏名

受験番号

採点欄

次の問題文を読み、問1～3に答えなさい

この部分に掲載されている文章については、著作権法上の問題から掲載することができませんので、ご了承ください。

Blank area for the exam questions, overlaid with a dotted pattern.

文学研究科 教育学専攻（修士課程）

2024 年 2 月 16 日

科目名	受験番号：	採点欄
一般方式・英語	氏名：	

問題 以下の英文を読んで、(1)～(3)について日本語で解答してください。

We live in an age when there is ⁽¹⁾ great optimism about the power of education to influence the well-being of individuals and nations. Parents and caregivers see education as a way for their children to improve on their own lives by building an understanding of their place in the world. It is also the principle means by which young people, by passing exams and gaining credentials, can gain an advantage in the labour market. Teachers, as they always have, hope to pass on the wisdom of generations in equipping students for the future.

Yet, while it can appear as if little has changed in education ---students still walk through the school gates, university lecturers still speak to massed ranks of under-graduates--- economic, political, and social changes over the past thirty years have fundamentally altered the nature and prospects for education.

Education holds a unique position in modern societies because many people believe that it benefits society at the same time as meeting the aspirations of students and their parents. ⁽²⁾ This faith in formal education has been strengthened in recent times as advances in knowledge and scientific understanding have been seen to play a decisive role in maintaining material and social progress both within developed and developing countries.

It is through science that we develop the technologies intended to improve our material well-being, while through the humanities it is hoped that moral and social progress can also be achieved. But what strengthens this faith is the idea that it is a source of social justice and national efficiency: that education offers students the promise of equality of opportunity irrespective of social background, gender, or ethnicity, while providing the economy with an educated workforce.

In this link between education and progress we see one of the key assumptions that many have held, that educational institutions are in some senses separate or removed from the rest of society. And, because of this relative autonomy individuals are able to develop their potential irrespective of the contrasting worlds that students inhabit beyond the school gates. It is thought that through disciplined study, students can learn to develop the foresight to transcend narrow self-interests or world-views. In part, such ideas reflect a tradition of thought that goes back to the Enlightenment in which reason, imparted through education, was seen as fundamental to the project of the 'perfectibility of man' (Passmore 2000).

⁽³⁾ But we need to ask whether this faith in education can be repaid.

(1) 下線部(1)は、具体的にどのようなことを意味しているでしょうか。説明してください。

(2) 下線部(2)は、具体的にどのようなことを意味しているでしょうか。説明してください。

(2) (下線部(3))に示された筆者の問題提起について、あなたはどのように考えますか。具体例を挙げつつ、論じてください。

文学研究科 教育学専攻（修士課程）

2024 年 2 月 16 日

科目名	受験番号：	採点欄
専門科目	氏名：	

【問題】＜資料 1＞において例示されている小学校 4 年生男児 A の問題について、担任教師の相談を受けたスクールソーシャルワーカー（SSWer）は、エコロジカルな観点から①児童個人の問題、②家庭内で生じている事柄からの影響、③親と社会との関係、④社会・経済の状況、⑤制度・政策の不備という視点からアセスメント（見立て）を行い、教員らとともに A と A の家族への支援を展開したといます。

（問 1）①～⑤の各層には、それぞれどのような問題があると分析されているでしょうか？

（問 2）①～⑤の各層の問題を改善・解消するためには、さまざまな役割を担う人々が存在します。誰が（人や組織・機関）どのような支援・改善を行うことが考えられるでしょうか？個別の役割だけでなく、人や組織の間の連携・協力の仕方も含めて考えてください。

（問 3）あなた自身が児童 A の担任であったとしたら、教師の専門性とスクールソーシャルワーク（SSW）の視点を踏まえて、どのような事をすべきか、できるかを考察してください。

※解答は、以下に（問 1）①、②のように番号を付して記述すること。

この部分に掲載されている文章については、著作権法上の問題から掲載することができませんので、ご了承ください。